

平成20年度評価問題「ゆうチャレンジ」（熊本県学力調査） 小学校6年 理科 出題のねらい等

連番	大問	中問	小問	領域及び学年	学習指導要領の内容		出題のねらい	観 点				主に「知識」に関する問題	主に「活用」に関する問題
								自然事象への関心・意欲・態度	科学的な思考・判断	観察・実験の技能・表現	自然事象についての知識・理解		
①	1	(1)		地球と宇宙 6年	C（1）イ	地層のでき方	地層には、流れる水のはたらきによってできているものがあることを理解していること。				○	○	
②				地球と宇宙 6年	C（1）イ	地層のでき方	地層には、火山の噴火によってできているものがあることを理解していること。				○	○	
③		(2)		地球と宇宙 6年	C（1）イ	地層のでき方	構成物から流れる水のはたらきによってできた地層であることを推論することができること。		○				○
④		(3)		地球と宇宙 6年	C（1）ア	地層のでき方	流れる水のはたらきで、層が砂とねん土に分かれることを図で表現することができること。			○		○	
⑤		(4)		地球と宇宙 6年	C（1）ア	地層のでき方	流れる水のはたらきで、層が砂とねん土の順に分かれることを説明することができること。		○				○
⑥		(5)		地球と宇宙 6年	C（1）イ	地層のでき方	水中で堆積した地層が、なぜ陸地で見られるのかを説明することができること。		○				○
⑦	2	(1)		生物とその環境 6年	A（2）ア	生物の養分	でんぷんを確認する指示薬が分かること。				○	○	
⑧		(2)		生物とその環境 6年	A（2）ア	生物の養分	熱湯の取り扱いに注意するなど、安全への配慮をすることができること。			○		○	
⑨				生物とその環境 6年	A（2）ア	生物の養分	でんぷんを確認する指示薬の性質が分かること。				○	○	
⑩		(3)	ア	生物とその環境 6年	A（2）ア	生物の養分	日光の当たる量が違うとでんぷんのできる量にも違いがでることを推論することができること。		○				○
⑪			イ	生物とその環境 6年	A（2）ア	生物の養分	日光の当たる量とでんぷんのでき方との関係を考えることができること。		○				○
⑫	3	(1)	ア	物質とエネルギー 5年	B（1）ウ	物の溶け方	液量計やはかりの名称を理解していること。				○	○	
⑬			イ	物質とエネルギー 5年	B（1）ウ	物の溶け方	重さの測定に使用する器具を適切に選択することができること。			○		○	
⑭		(2)		物質とエネルギー 5年	B（1）ウ	物の溶け方	液量計やはかりの適切な操作や安全な扱い方を説明できること。			○		○	
⑮				物質とエネルギー 5年	B（1）ウ	物の溶け方	メスシリンダーの適切な操作の仕方を説明できること。		○				○
⑯		(3)		物質とエネルギー 5年	B（1）ウ	物の溶け方	物が水に溶けても、水と物とを合わせた重さは変わらないことが分かること。			○		○	
⑰				物質とエネルギー 5年	B（1）ウ	物の溶け方	物が水に溶けても、水と物とを合わせた重さは変わらないことが分かること。			○		○	
⑱	4	(1)		物質とエネルギー 6年	B（2）ア	燃焼の仕組み	物の燃焼の実験方法を工夫することができること。			○		○	
⑲		(2)	ア	物質とエネルギー 6年	B（2）ア	燃焼の仕組み	気体検知管の目盛りを正確に読み取ることができること。			○		○	
⑳			イ	物質とエネルギー 6年	B（2）ア	燃焼の仕組み	実験結果をもとに物が燃焼するときの空気の変化について考えることができること。		○				○
㉑		(3)		物質とエネルギー 6年	B（2）ア	燃焼の仕組み	燃焼の仕組みを、日常生活と関連づけて考えることができること。		○				○
㉒		(4)		物質とエネルギー 6年	B（2）ア	燃焼の仕組み	燃焼の仕組みから、日常生活の関連した事象に関心をもつこと。	○					○
㉓				物質とエネルギー 6年	B（2）ア	燃焼の仕組み	燃焼の仕組みから、日常生活の関連した事象に関心をもつこと。	○					○